

望郷

あの白鳥たちはどうしているだろう



猪苗代湖から磐梯山を望む

東日本大震災避難者（笛吹市在住）

渡部 徳 写真展

日時：平成24年2月23日(木)～3月18日(日) <9時～16時>

初日13時から、最終日11時まで
(2月28日、3月6日、13日は休館日につき休みます)

場所：笛吹市春日居郷土館 研修室（入場無料）

《撮影者あいさつ》

私は、福島県南相馬市小高地区からの避難者です。震災、原発事故から早1年ですが、何か自分にできることと思い、写真展を開くことにしました。

1995年の冬、楢葉町上繁岡の大堤にいた400羽の白鳥を見たときから写真に興味を持ち、福島県内各地を月1～2回のペースで10年くらい撮り溜めたものの中から、何点か選んでみました。

私自身は自宅が20キロ圏内で帰宅もかありませんが、「あの白鳥たちはこの冬どうしたのだろうか」と気になって仕方ありません。

この福島の風景を、お世話になった笛吹市の皆さんにも見ていただける日が来ることを願って、写真展開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

主催： 笛吹市社会福祉協議会 055-265-5182
協力： シンゲンカメラ 0553-26-4808
笛吹すけっこの会 (代表 大竹茂)